

こども計画に関する基礎統計資料

(第2章統計部分)

令和6年7月時点

岩出市

目次

● 第2章 本市の子どもと家庭を取り巻く現状	1
1 人口の動向	1
2 家族の動向	3
3 就労状況	6
4 教育・保育サービス等の状況	7
5 母子保健の状況	14
6 各種手当・助成制度の状況	16
7 子育て支援のための地域資源	17
8 子どもの虐待に関する状況	18
9 子どもの貧困に関する状況	20

第2章 本市の子どもと家庭を取り巻く現状

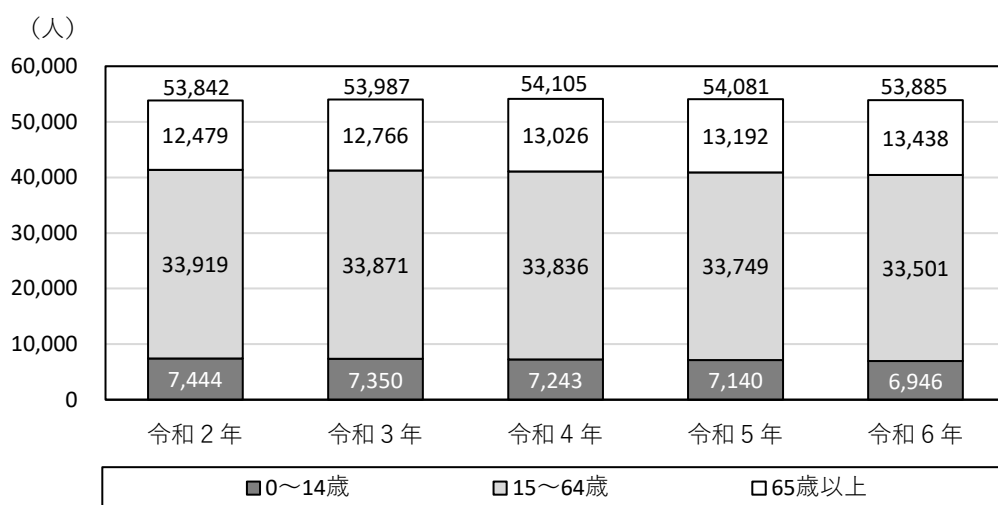
※2019年の4月30日までは平成31年（年度）、5月1日以降は令和元年（年度）と表記。

1 人口の動向

（1）総人口の推移

本市の総人口は、令和4年までは増加を続けていましたが、令和6年は53,885人と、令和4年に比べて220人（0.4%）減少しています。

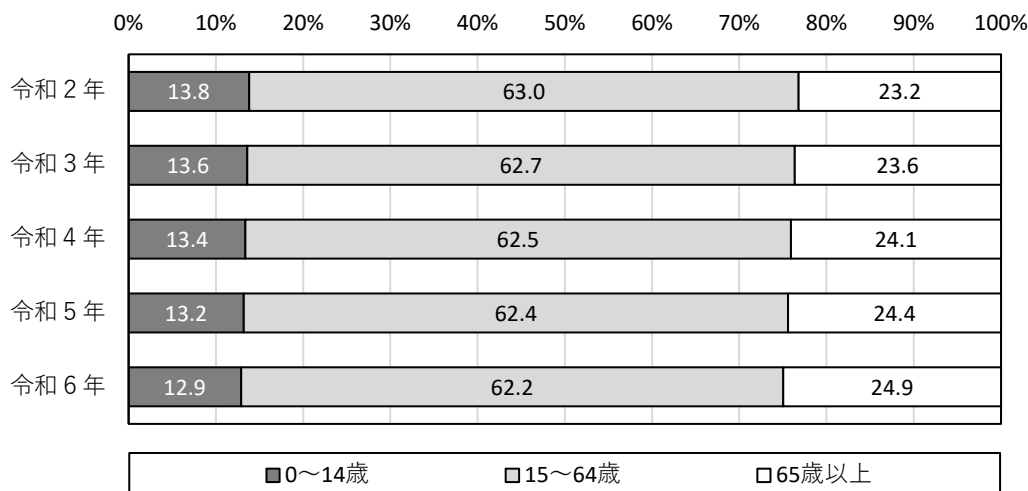
年齢3区分別にみると、0～14歳人口と15～64歳人口はともに減少していますが、65歳以上人口は増加しています。



資料／住民基本台帳（各年4月1日現在）

（2）年齢3区分別人口（構成比）の推移

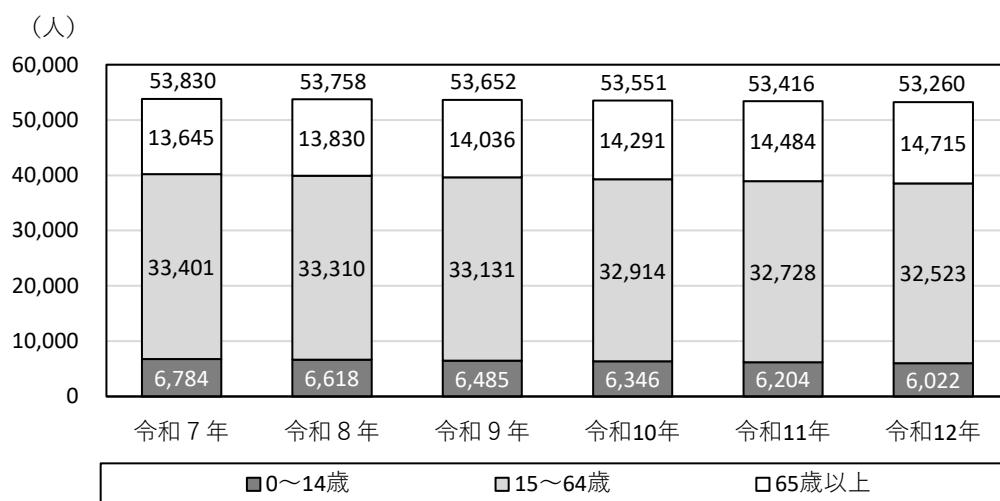
総人口に占める0～14歳人口と15～64歳人口の割合は年々減少しています。その半面、65歳以上人口の割合（高齢化率）は年々増加し、令和6年には24.9%となるなど、本市においても少子高齢化が進んでいます。



資料／住民基本台帳（各年4月1日現在）

(3) 将来の人口推計

将来の人口推計をみると、0～14 歳人口、15～64 歳人口は減少し続けるのに対して、65 歳以上人口は増加し続ける見込みとなっています。

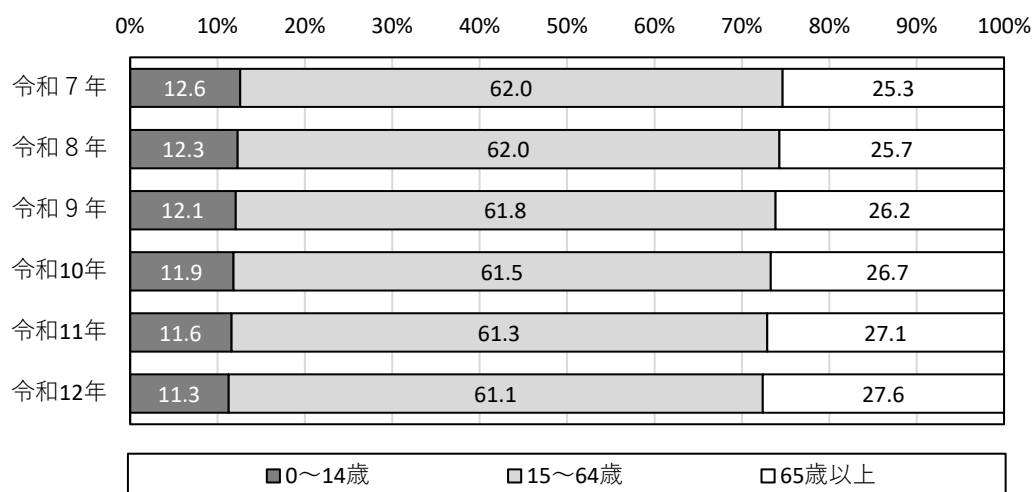


資料／住民基本台帳（令和2年～令和6年）をもとに、コーホート変化率法(※)で算出

※同じ年に生まれた人々の集団について、過去における実績人口の動態から変化率を求め、それに基づき将来人口を推計する方法

(4) 将来の年齢3区分別人口（構成比）の推移

人口減少が続く中、総人口に占める0～14 歳人口、15～64 歳人口の割合は減少し続ける一方で、65 歳以上人口の割合は増加し続ける見込みとなっています。



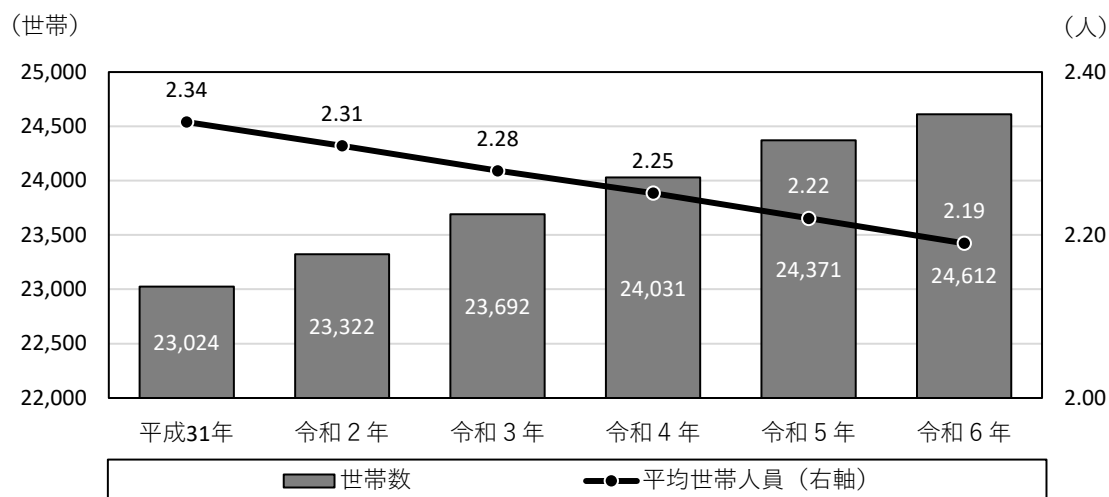
資料／住民基本台帳（令和2年～令和6年）をもとに、コーホート変化率法で算出

2 家族の動向

(1) 世帯数と平均世帯人員の推移

世帯数は一貫して増加を続け、令和6年3月末現在で24,612世帯となっています。

その反面、1世帯あたりの平均世帯人員数は減少を続けており、令和6年には2.19人となっています。



資料／住民基本台帳（各年3月31日現在）

(2) 世帯構成の推移

世帯構成の推移をみると、単独世帯とひとり親世帯の増加が顕著となっています。令和2年を平成12年と比較すると、単独世帯で約2.2倍、ひとり親世帯で約1.6倍増加しています。

令和2年は、ひとり親世帯の9割以上を母子世帯が占めています。

	(世帯)				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
一般世帯数合計	16,178	17,771	19,529	20,744	21,965
核家族世帯	11,239	12,389	12,902	13,699	14,268
その他の親族世帯	2,050	1,906	2,124	1,550	1,191
非親族世帯	58	91	164	154	286
単独世帯	2,831	3,385	4,339	5,341	6,220
ひとり親世帯（再掲）	364	528	578	614	586

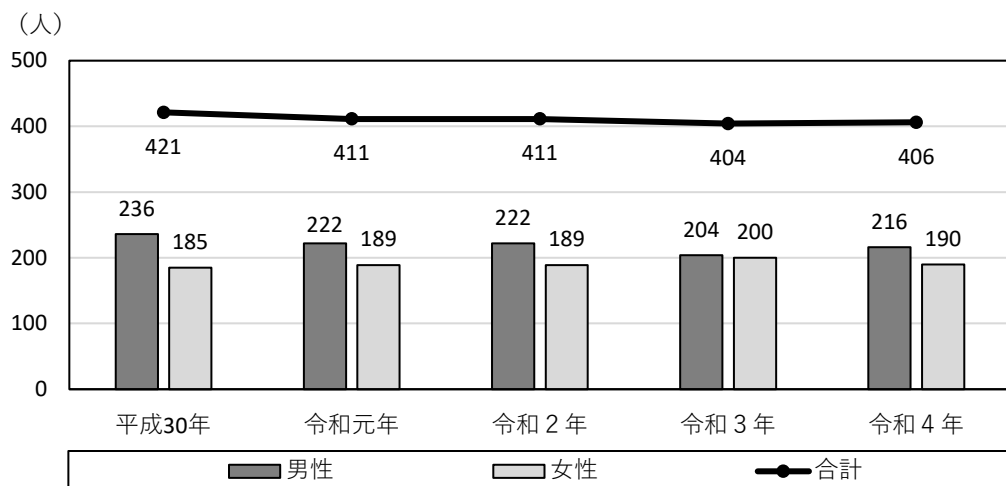
内訳 ↓

父子世帯	53世帯	9.0%
母子世帯	533世帯	91.0%

資料／国勢調査

(3) 出生数の推移

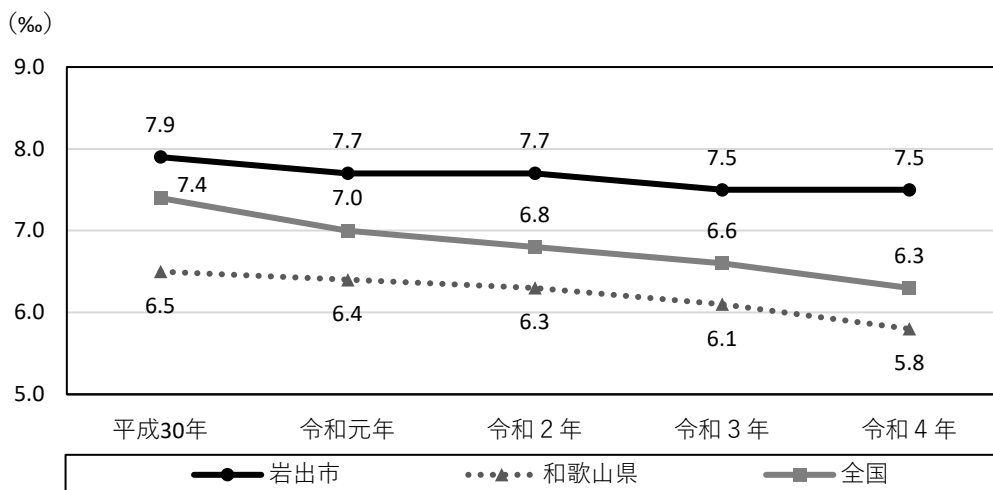
出生数の推移をみると、平成 30 年の 421 人をピークに、減少傾向となっています。



資料／人口動態統計

(4) 出生率（人口千人対）の推移

出生率（人口千人対）の推移をみると、平成 30 年の 7.9‰（パーミル）をピークに減少傾向となっていますが、全国や和歌山県よりも高い水準で推移しています。

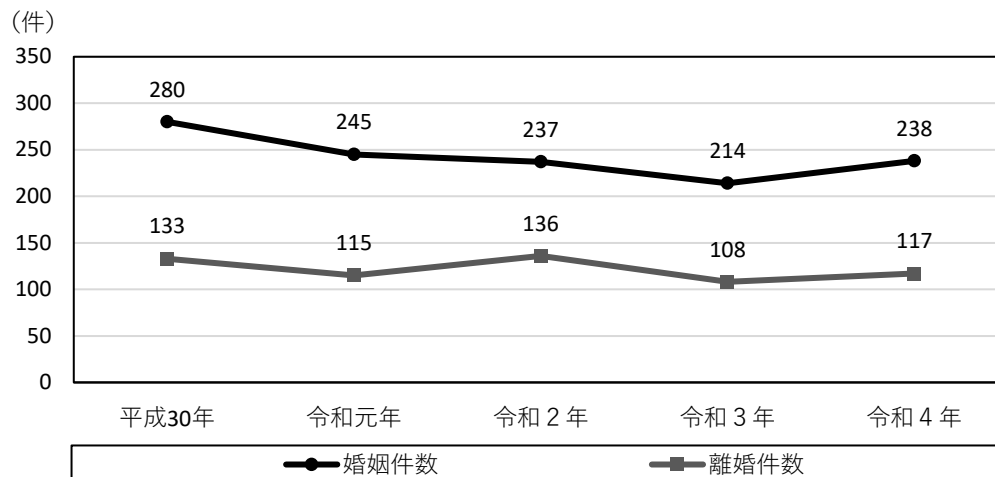


資料／人口動態統計

(5) 婚姻・離婚数の推移

婚姻件数は増減を繰り返しながら、210 件～280 件程度で推移しており、全体としてはやや減少傾向がみられます。

離婚件数は増減を繰り返しながら、100 件～130 件程度で推移しています。



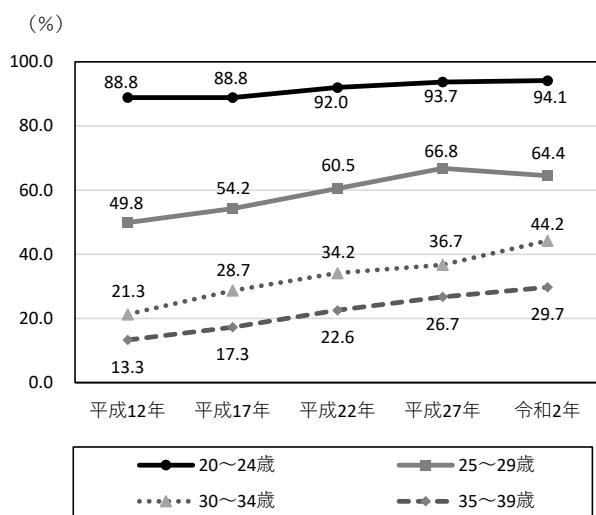
資料／人口動態統計

(6) 未婚率の推移

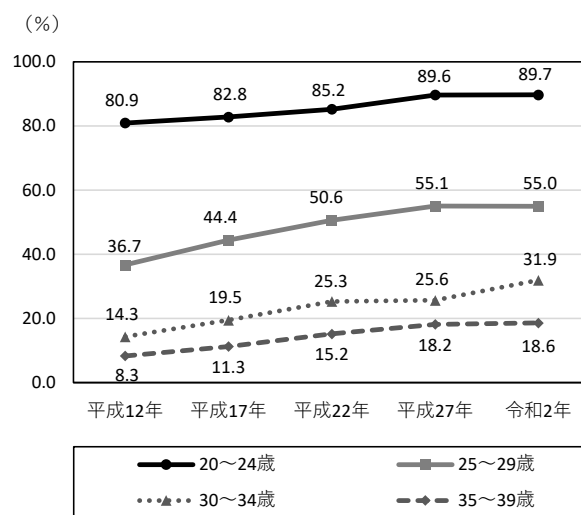
男性・女性とも、各年齢層で未婚率は増加傾向となっています。

男性では平成17年以降、女性では平成22年以降、25～29歳の未婚率が半数を超えています。

【男性】



【女性】



資料／国勢調査

3 就労状況

(1) 産業構造別就業率の推移

女性の就業者数は、平成22年以降は1万人を超えて推移しており、平成12年から令和2年にかけて2,300人増加し、約1.3倍になっています。

産業構造別の就業率をみると、男女ともに第3次産業で働く人の割合が最も高くなっています。

	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
総数(人)	13,583	8,575	13,865	9,695	13,470	10,037	13,975	11,090	12,762	10,875
第1次産業(%)	3.6	5.1	3.2	4.0	3.2	3.3	3.0	3.4	3.0	3.2
第2次産業(%)	37.2	17.3	33.1	14.3	31.2	12.1	31.2	13.1	30.8	13.4
第3次産業(%)	59.2	77.5	61.3	79.2	61.5	79.8	62.8	80.3	62.7	79.7
分類不能(%)	0.0	0.1	2.4	2.5	4.1	4.8	3.0	3.1	3.4	3.8

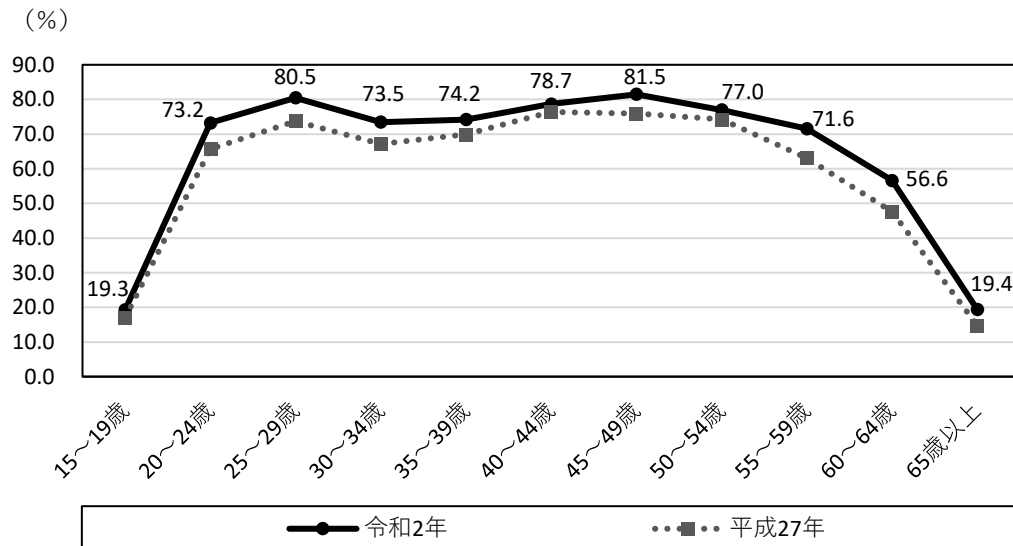
第1次産業：農業、林業、漁業など。第2次産業：工業、建設業、鉱業など。

資料／国勢調査

第3次産業：商業、金融業、運輸業、情報通信業、サービス業など

(2) 女性の年齢別労働力率の推移

女性の年齢別労働力率は、すべての年齢区分で令和2年が平成27年を上回っています。M字カーブは緩やかになっていますが、依然30～39歳の労働力率は、前後の年齢層よりも落ち込んでいます。



資料／国勢調査

4 教育・保育サービス等の状況

(1) 保育所等の状況

①認可保育所の設置数・保育士数

認可保育所（認定こども園含む）の設置数は令和6年度現在、公立4か所、私立6か所の計10か所となっています。

保育士数は増加で推移し、令和6年度現在256人となっています。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公立	設置数（か所）	4	4	4	4	4	4
	保育士数（人）	96	103	108	109	110	109
私立	設置数（か所）	6	6	6	6	6	6
	保育士数（人）	121	121	117	122	124	147
合計	設置数（か所）	10	10	10	10	10	10
	保育士数（人）	217	224	225	231	234	256

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

②認可保育所の定員・児童数

<公立>

公立の認可保育所の定員数は、平成31年度に山崎、上岩出両保育所で増加し、4か所計で805人となっています。児童数と在籍率は年々減少しています。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
岩出保育所	定員数（人）	120	120	120	120	120	120
	児童数（人）	101	106	106	97	98	88
山崎保育所	定員数（人）	280	280	280	280	280	280
	児童数（人）	266	264	253	249	253	254
根来保育所	定員数（人）	210	210	210	210	210	210
	児童数（人）	179	163	172	174	164	152
上岩出保育所	定員数（人）	195	195	195	195	195	195
	児童数（人）	167	170	167	164	154	147
公立計	定員数（人）	805	805	805	805	805	805
	児童数（人）	713	703	698	684	669	641
	在籍率（％）	88.6	87.3	86.7	85.0	83.1	79.6

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

<私立（認定こども園含む）>

私立の認可保育所の定員数は、4 か所計で増加傾向となっており、令和6年度現在 726 人となっています。児童数は年度ごとに増減があり、令和6年度は 625 人となっています。在籍率も増減がありますが、児童数が定員を超える状況は発生していません。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
しらゆり保育園	定員数（人）	154	154	154	154	154	154
	児童数（人）	149	145	138	125	123	122
さくら保育園	定員数（人）	160	160	160	170	170	170
	児童数（人）	158	159	156	164	159	166
山崎北こども園	定員数（人）	243	243	243	243	243	243
	児童数（人）	206	212	206	194	216	215
おひさま子ども園	定員数（人）	159	159	159	159	159	159
	児童数（人）	149	135	128	110	119	122
私立計	定員数（人）	716	716	716	726	726	726
	児童数（人）	662	651	628	593	617	625
	在籍率（%）	92.5	90.9	87.7	81.7	85.0	86.1

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

<私立（地域型保育）>

令和6年度現在、2 か所の事業所内保育所があり、定員数は合計で 42 人となっています。児童数は 35 人程度、在籍率は 85%程度で推移しています。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
つくしの里こども園	定員数（人）	30	30	30	30	30	30
	児童数（人）	25	20	24	25	23	24
さくらんぼ学級	定員数（人）	12	12	12	12	12	12
	児童数（人）	10	9	11	11	12	12
合計	定員数（人）	42	42	42	42	42	42
	児童数（人）	35	29	35	36	35	36
	在籍率（%）	83.3	69.0	83.3	85.7	83.3	85.7

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

③一時預かり事業の状況

一時預かり事業は現在、公立4か所、私立3か所の保育所・認定こども園で実施しています。延べ利用数は平成31年度の545人日をピークに減少傾向となっており、令和5年度は196人日となっています。

		(人日)				
		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公立	岩出保育所	0	5	2	1	0
	山崎保育所	13	2	0	0	0
	根来保育所	10	0	0	0	4
	上岩出保育所	13	13	0	0	0
私立	おひさま子ども園	108	107	56	63	25
	山崎北こども園	0	0	0	0	0
	つくしの里こども園	401	112	77	172	167
合計		545	239	135	236	196

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

④時間外保育（延長保育）事業の状況

時間外保育は、平成31年度以降減少が続いていましたが、令和5年度は前年度より増加しています。

(日)

			平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公立	岩出保育所	短時間	775	443	1,219	527	660
		標準時間	840	719	593	450	134
	山崎保育所	短時間	6,201	3,185	1,334	1,267	1,775
		標準時間	1,346	1,065	1,254	1,050	992
	根来保育所	短時間	2,896	1,304	890	412	370
		標準時間	1,397	634	433	370	787
	上岩出保育所	短時間	3,576	1,857	1,223	1,181	708
		標準時間	876	1,156	813	410	142
私立	しらゆり保育園	短時間	1,257	615	189	104	229
		標準時間	3,875	2,178	2,048	1,608	1,936
	さくら保育園	短時間	2,476	1,270	2,260	1,899	4,131
		標準時間	1,629	1,298	2,102	1,889	1,431
	おひさま子ども園	短時間	2,874	3,703	3,394	3,390	1,748
		標準時間	1,705	1,240	2,448	1,784	1,794
	山崎北こども園	短時間	2,620	2,377	1,788	1,492	4,835
		標準時間	2,166	1,941	1,659	1,792	1,779
	つくしの里こども園	短時間	173	388	401	528	409
		標準時間	32	26	28	262	207
合計			36,714	25,399	24,076	20,415	24,067

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

⑤乳児保育（0歳児保育）の状況

乳児保育は現在、4か所の私立保育所・認定こども園で実施しており、令和6年度の入所者数は37人となっています。

(人)

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
私立	しらゆり保育園	8	11	13	7	11	9
	さくら保育園	6	9	6	9	8	6
	おひさま子ども園	8	3	3	6	3	6
	山崎北こども園	13	18	15	21	16	16
合計		35	41	37	43	38	37

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

⑥低年齢児（3歳未満児）保育の状況

低年齢児保育は現在、公立4か所、私立4か所の保育所・認定こども園で実施しており、入所者数は増減がみられるものの全体としては増加で推移し、令和6年度の入所者数は合計で397人となっています。

(人)

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公立	岩出保育所	32	30	26	23	29	30
	山崎保育所	66	66	74	75	78	78
	根来保育所	49	37	44	40	39	41
	上岩出保育所	35	33	40	42	51	52
私立	しらゆり保育園	56	48	40	47	41	43
	さくら保育園	55	52	49	60	46	57
	おひさま子ども園	54	46	39	32	33	36
	山崎北こども園	53	54	54	54	60	60
合計		400	366	366	373	377	397

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

⑦障害児保育の状況

障害児保育は現在、公立4か所、私立2か所の保育所・認定こども園で実施しており、入所者数は増加傾向にあります。令和5年度は197人で、平成31年度より25人増加しています。

(人)

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公立	岩出保育所	35	31	29	27	35
	山崎保育所	58	56	53	45	56
	根来保育所	32	26	29	47	43
	上岩出保育所	31	30	28	35	36
私立	おひさま子ども園	8	11	15	12	12
	山崎北こども園	8	14	16	15	15
合計		172	168	170	181	197

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

⑧病後児保育の状況

病後児保育の登録者数は年々増加する一方、コロナ禍期に減少していた延べ利用日数は増加に転じ、令和5年度には登録者数350人、延べ利用日数81人日となっています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数（人）	253	268	286	304	350
延べ利用日数（人日）	83	8	19	25	81

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

⑨ファミリー・サポート・センターの状況

ファミリー・サポート・センターの登録会員数は年々増加しており、令和5年度には1,000人を超えています。一方、延べ利用件数は平成31年度以降、減少傾向となっています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録会員数（人）	854	859	882	936	1,005
延べ利用件数（件）	1,855	1,164	1,197	1,034	768

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

（2）幼稚園の状況

幼稚園数は令和6年度現在、2か所となっています。児童数は減少傾向にあり、令和5年度以降、在籍率は50%を下回っています。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
幼稚園数（か所）		2	2	2	2	2	2
教職員数（人）		46	53	52	52	50	46
和歌山中央幼稚園	定員数（人）	420	420	420	420	420	420
	児童数（人）	259	257	246	258	252	230
おのみなと紀泉台幼稚園	定員数（人）	420	420	420	420	420	420
	児童数（人）	194	192	179	173	155	148
合計	定員数（人）	840	840	840	840	840	840
	児童数（人）	453	449	425	431	407	378
	在籍率（%）	53.9	53.5	50.6	51.3	48.5	45.0

資料／教育総務課（各年度5月1日現在）

(3) 小学校の状況

小学校数は平成 13 年度以降、公立 6 校で推移しています。児童数は年々減少傾向にあり、令和 6 年度は 2,854 人となっています。一方で教職員数は増加が続いており、教職員 1 人あたりの児童数は年々減少しています。

また、小学校におけるいじめの認知（発生）件数は減少している一方で、不登校児童数は増加しています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学校数（校）	6	6	6	6	6	6
学級数（クラス）	121	121	122	125	123	125
教職員数（人）	237	249	252	255	274	279
児童数（人）	岩出小学校	365	354	351	344	336
	山崎小学校	697	678	675	680	664
	山崎北小学校	665	662	664	666	669
	根来小学校	449	454	472	448	428
	上岩出小学校	393	404	399	377	378
	中央小学校	462	440	442	407	412
	合計	3,031	2,992	3,003	2,922	2,887
教職員 1 人あたり児童数（人）	12.8	12.0	11.9	11.5	10.5	10.2

資料／教育総務課（各年度 5 月 1 日現在）

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
<参考> 管外小学校通学者数（人）	102	96	111	102	99	107

資料／教育総務課（各年度 5 月 1 日現在）

	（件）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
いじめの認知（発生）件数	710	670	639
不登校児童数	66	71	97

資料／教育総務課（各年度 4 月現在）

(4) 中学校の状況

中学校数は公立2校で推移しています。生徒数は2校とも増減をしながらほぼ横ばいで推移しており、令和6年度は合計で1,352人となっています。一方で教職員数は120人前後で推移しており、教職員1人あたりの生徒数は全体としては減少傾向となっています。

また、中学校におけるいじめの認知（発生）件数は減少している一方で、不登校児童数は増加傾向となっています。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学校数（校）		2	2	2	2	2	2
学級数（クラス）		50	47	45	48	50	50
教職員数（人）		122	116	114	117	125	133
生徒数（人）	岩出中学校	690	677	675	711	701	693
	岩出第二中学校	756	657	624	624	655	659
	合計	1,446	1,334	1,299	1,335	1,356	1,352
教職員1人あたり生徒数（人）		11.9	11.5	11.4	11.4	10.8	10.2

資料／教育総務課（各年度5月1日現在）

（件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
いじめの認知（発生）件数	40	37	20
不登校児童数	80	99	85

資料／教育総務課（各年度4月現在）

(5) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の状況

放課後児童クラブの在籍児数は増減しながら推移しており、令和6年度は定員の約8割の483人となっています。現時点で在籍児数が定員を上回る放課後児童クラブはありません。

（人）

名称	定員	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ホープいわで	100	51	56	50	59	61	81
ホープやまさき	100	91	97	91	87	79	80
ホープやまさき北	100	85	98	83	96	93	99
ホープねごろ	100	75	84	78	67	59	56
ホープちゅうおう	100	83	87	70	72	86	87
ホープかみいわで	100	37	78	83	70	78	80
合計	600	422	500	455	451	456	483

資料／子ども家庭課（各年度4月1日現在）

5 母子保健の状況

(1) 母子健康手帳の交付数

母子健康手帳の交付数は減少しています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
手帳交付数（冊）	418	407	403	364	329

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

(2) 妊婦健康診査の受診者数

妊婦健康診査の件数は、令和3年度に減少し、その後増加したものの、令和5年度には再び大きく減少し、6,490人となっています。

妊婦歯科検診の受診者数も増減をしながら推移し、令和5年度は102人と、前年度より25人減少しています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
妊婦健康診査（件）	7,909	7,922	7,227	7,463	6,490
妊婦歯科検診（人）	120	120	114	127	102

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

(3) 乳幼児健康診査の受診者数

乳幼児健康診査は、かつては月齢が上がるにつれて受診率が低下する傾向にありましたが、近年では月齢に関わらず高い受診率になっています。

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4か月児健診	対象者数（人）	410	348	409	406	350
	受診数（人）	398	345	402	402	346
	受診率（％）	97.1	99.1	98.3	99.0	98.9
7か月児健診	対象者数（人）	424	382	399	399	378
	受診数（人）	406	368	404	397	384
	受診率（％）	95.8	96.3	101.3	99.5	101.6
1歳8か月児健診	対象者数（人）	432	444	417	420	418
	受診数（人）	420	434	402	414	404
	受診率（％）	97.2	97.7	96.4	98.6	96.7
3歳6か月児健診	対象者数（人）	436	499	434	440	418
	受診数（人）	403	484	408	430	411
	受診率（％）	92.4	97.0	94.0	97.7	98.3

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

(4) 訪問指導の状況

赤ちゃん訪問指導の件数は、増減をしながら全体としては減少傾向となっています。
訪問指導の件数は、令和2年度を除いて50～60件にとどまる年が多くなっています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
母子保健推進員活動（件）	0	0	0	0	0
赤ちゃん訪問指導（件）	417	381	370	403	349
訪問指導（件）	52	90	65	60	57

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

(5) 相談事業の状況

相談事業の中では、特に発達相談の増加が目立ちます。

(人)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
10か月児健康相談	399	421	401	407	380
2歳6か月児健康相談	456	367	417	409	418
発達相談	679	708	752	836	864

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

(6) その他教室等の状況

その他教室等の利用人数をみると、子育て教室の減少が顕著になっています。全体で減少傾向にある中、令和5年度はいずれの教室も利用人数が前年度を上回っています。

(人)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
妊婦教室	79	64	77	74	110
親子教室	681	574	584	664	681
子育て教室	170	126	111	91	160
栄養教室（離乳食）	45	54	63	58	82

資料／子ども家庭課（各年度3月末日現在）

6 各種手当・助成制度の状況

(1) 各種手当の受給者数

各種手当の状況をみると、児童手当の受給者数は減少が続いており、特別児童扶養手当の受給者数は170人程度で推移しています。

心身障害児在宅扶養手当と障害児福祉手当の受給者は増減をしながら推移しています。

(人)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童手当	4,180	4,083	4,012	3,921	3,721
児童扶養手当	713	706	682	660	628
特別児童扶養手当 (受給者)	163	174	174	174	173
(支給停止者)	3	5	6	7	8
(受給権者)	166	179	180	181	181
心身障害児在宅扶養手当 (受給者)	85	84	80	79	94
(支給停止者)	7	8	11	12	7
(受給権者)	92	92	91	91	101
障害児福祉手当 (受給者)	28	31	31	22	25
(支給停止者)	1	1	2	4	1
(受給権者)	29	32	33	26	26

資料／社会福祉課、子ども家庭課（各年度3月末日現在）

(2) 各種助成の受給者数

重度心身障害児（者）医療費助成の受給者数は増加しています。

他の助成の受給者数は、減少しています。

(人)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
こども医療費助成	7,110	7,010	6,879	6,771	6,579
ひとり親家庭等医療費助成	1,805	1,753	1,735	1,693	1,626
重度心身障害児（者）医療費助成 (受給者)	1,262	1,312	1,349	1,350	1,367
(支給停止者)	39	37	39	44	45
(受給権者)	1,301	1,349	1,388	1,394	1,412

資料／社会福祉課、子ども家庭課（各年度3月末日現在）

7 子育て支援のための地域資源

(1) 民生委員・児童委員の状況

民生委員・児童委員の数は、ほぼ 90 人程度で推移しています。

1 人あたりの担当世帯数は増加傾向となっています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
民生委員・児童委員数（人）	89	91	90	88	90
うち男性委員（人）	49	50	49	47	48
うち女性委員（人）	40	41	41	41	42
1人あたり担当世帯数（世帯）	280	278	286	297	293
主任児童委員数（人）	6	6	6	6	6

資料／社会福祉課（各年度3月末日現在）

(2) 児童館の状況

児童館の利用者数は、コロナ禍の影響で大人も子どももおおむね減少傾向が続いていましたが、大池児童館では令和5年度の子どもの利用者数が、前年度の約2倍となっています。

(人)

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大池児童館	大人	1,723	1,137	516	689	783
	子ども	2,291	782	1,554	1,488	3,430
	計	4,014	1,919	2,070	2,177	4,213
岡田児童館	大人	1,783	1,090	742	556	383
	子ども	1,174	582	284	255	188
	計	2,957	1,672	1,026	811	571
上岩出児童館	大人	3,503	2,383	2,434	2,641	2,529
	子ども	1,721	786	632	568	568
	計	5,224	3,169	3,066	3,209	3,097
計	大人	7,009	4,610	3,692	3,886	3,695
	子ども	5,186	2,150	2,470	2,311	4,186
	計	12,195	6,760	6,162	6,197	7,881

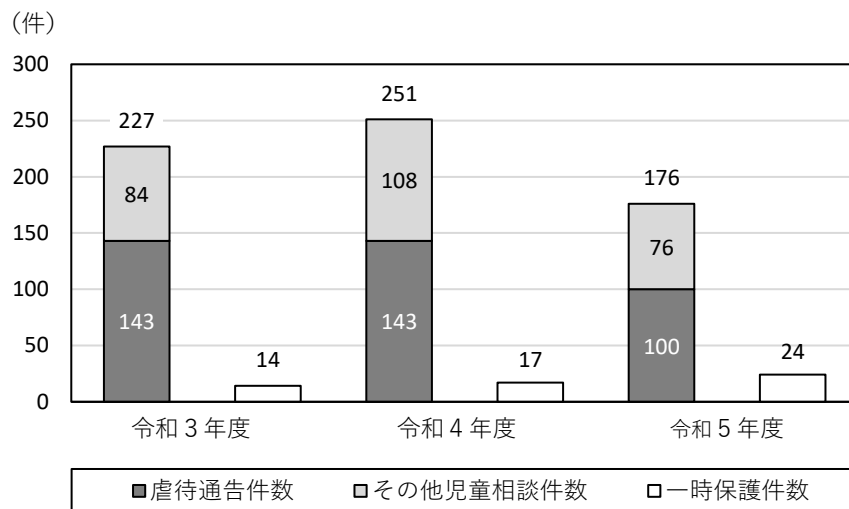
資料／社会福祉課（各年度3月末日現在）

8 子どもの虐待に関する状況

(1) 児童相談件数

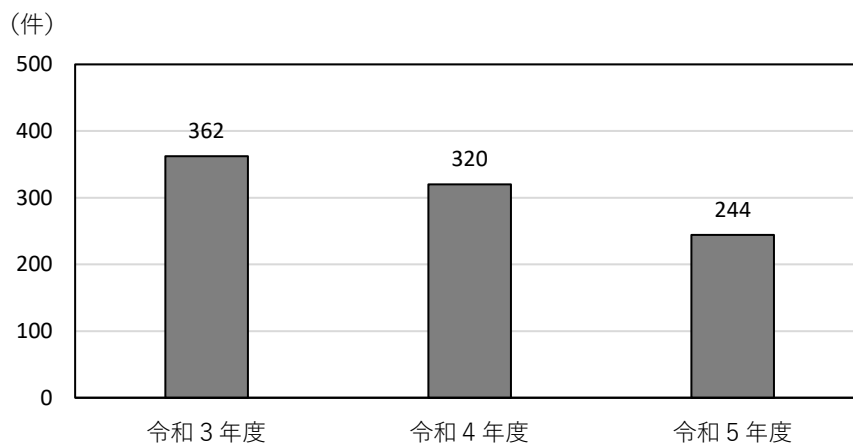
本市の児童相談件数は、令和5年度は176件で、その内、虐待通告件数は100件となっています。

一時保護件数は、各年度20件前後となっています。



資料／子ども家庭課（各年度3月末現在）

虐待対応件数は年々減少しています。



資料／子ども家庭課（各年度3月末現在）

(2) 児童相談・虐待通告の内訳

児童相談の内容をみると、各年度とも虐待通告が最も多くなっています。

虐待通告の内容をみると、各年度とも心理的虐待が最も多くなっています。子どもが親のDV（ドメスティック・バイオレンス）を目撃することが、心理的虐待として警察から通告を受けるケースの多いことが影響していると考えられます。

(件)

	虐待通告	その他 養護相談	性格行動 相談	不登校相談	育児・しつけ 相談	障害相談	非行相談	合計
令和3年度	143	84	2	0	0	0	0	229
令和4年度	143	108	0	0	0	0	0	251
令和5年度	100	76	0	0	0	0	0	176

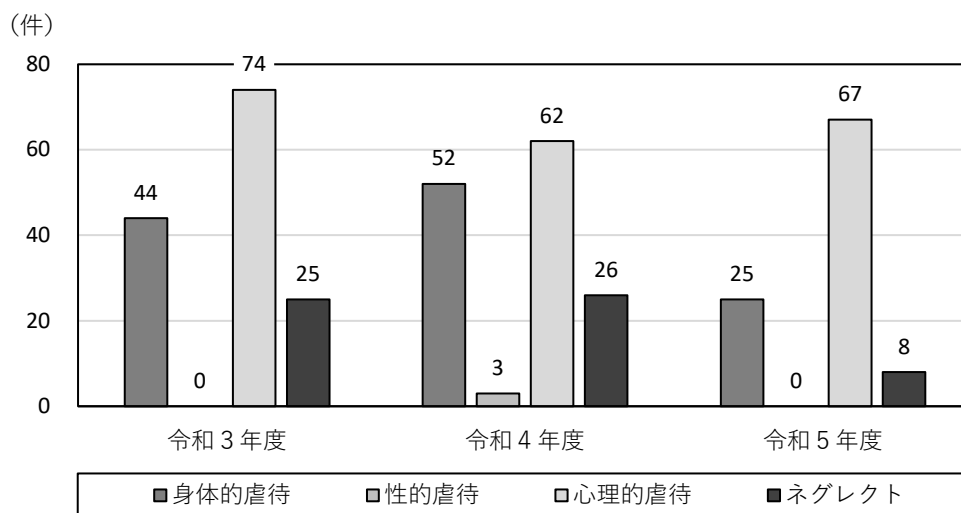
内訳

(件)

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	ネグレクト	合計
令和3年度	44	0	74	25	143
令和4年度	52	3	62	26	143
令和5年度	25	0	67	8	100

資料／子ども家庭課（各年度3月末現在）

【虐待通告の内訳（再掲）】



資料／子ども家庭課（各年度3月末現在）

9 子どもの貧困に関する状況

(1) ひとり親世帯の状況（再掲）

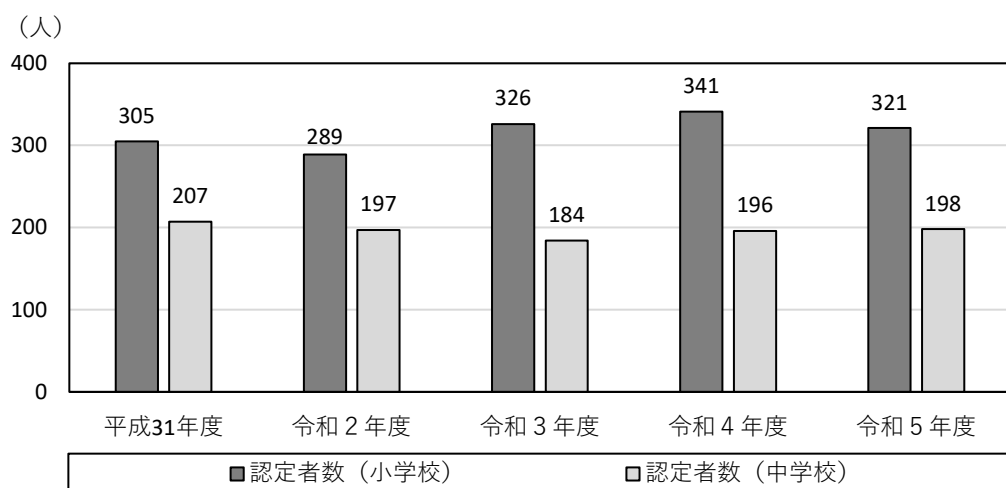
ひとり親世帯のうち、特に困窮のリスクが高いとされる母子世帯の割合は、令和2年の時点で一般世帯全体の2.4%となっています。

	世帯数（世帯）	割合（%）
一般世帯数合計	21965	100.0
父子世帯	53	0.2
母子世帯	533	2.4

資料／国勢調査（令和2年）

(2) 就学援助認定者の状況

就学援助認定者数は、小学校では令和3年度、令和4年度にかけて増加し、令和5年度は減少しています。中学校では令和3年度にかけて減少していましたが、近年再び増加しています。



資料／教育総務課（各年度5月1日現在）

(3) 子どもの相対的貧困率の状況

令和5年実施の「和歌山県子供の生活実態調査」によると、本市の相対的貧困率（所得段階Ⅲの世帯の割合）は、小学5年生、中学2年生のいる世帯とも、和歌山市や紀北、紀中、紀南の各地域に比べて低くなっています。

一方、経済的困難世帯の割合は、小学5年生、中学2年生ともに和歌山市や紀中に比べて高くなっています。

【小学5年生の子どもがいる世帯】

	全体	所得段階Ⅰ		所得段階Ⅱ		所得段階Ⅲ		経済的困難世帯	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
岩出市	266	143	53.8	88	33.1	16	6.0	51	19.2
和歌山市	2,095	1,034	49.4	675	32.2	182	8.7	348	16.6
紀北	1,125	521	46.3	404	35.9	100	8.9	204	18.1
紀中	721	294	40.8	286	39.7	75	10.4	107	14.8
紀南	775	276	35.6	313	40.4	100	12.9	156	20.1
合計	4,824	2,163	44.8	1,723	35.7	470	9.7	837	17.4

資料／和歌山県子供の生活実態調査（令和5年）

【中学2年生の子どもがいる世帯】

	全体	所得段階Ⅰ		所得段階Ⅱ		所得段階Ⅲ		経済的困難世帯	
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
岩出市	250	124	49.6	86	34.4	21	8.4	41	16.4
和歌山市	1,677	869	51.8	482	28.7	148	8.8	268	16.0
紀北	1,095	519	47.4	363	33.2	102	9.3	194	17.7
紀中	717	300	41.8	253	35.3	89	12.4	112	15.6
紀南	742	266	35.8	329	44.3	69	9.3	145	19.5
合計	4,453	2,082	46.8	1,480	33.2	427	9.6	749	16.8

資料／和歌山県子供の生活実態調査（令和5年）

所得段階Ⅰ… 可処分所得の中央値以上の世帯

所得段階Ⅱ… 可処分所得の中央値の半分以上の世帯

所得段階Ⅲ… 可処分所得の中央値の半分未満の世帯（相対的貧困層）

経済的困難世帯… 「生活必需品の購入が困難」「公共料金等の支払いが困難」「生活必需品の非所有」の3つのうち、いずれかの経験がある世帯